

第10回苫小牧市行政改革推進審議会 議事録

日 時	令和2年8月17日（月）15:00～15:30
場 所	市役所2階入札室
出席委員	石森委員、大橋委員、小林委員、小山委員、新庄委員、滝本委員、藤田委員、山上委員 （敬称略、五十音順）
事務局	行政監理室
会議次第	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 会長挨拶3 議題 行政改革プラン-NEXT STAGE-に関する 意見書（案）について4 その他5 閉会

発 言 者	発 言 内 容
事務局	<p>定刻となりましたので、ただ今から、第10回苫小牧市行政改革推進審議会を開催いたします。</p> <p>それでは、審議会の開催にあたり、石森会長より御挨拶をお願いいたします。</p>
石森会長	<p>皆様、本日は、お忙しい中、審議会に出席いただき、感謝申し上げます。</p> <p>また、大変お忙しい中、行政改革プラン－NEXT STAGE－の取組結果について、評価をいただき、重ねて感謝申し上げます。</p> <p>本日は、事務局から事前に送付があった意見書（案）について議論を行い、内容を固めていきたいと思えます。</p> <p>なお、意見書は、後日、市長に提出する予定となっております。</p> <p>委員の皆様には、本日も忌憚のない御意見をお願いしたいと思えますので、よろしく申し上げます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、これからの議事進行につきましては、石森会長にお願いしたいと思います。</p> <p>石森会長、よろしく申し上げます。</p>
石森会長	<p>それでは、議題の『行政改革プラン－NEXT STAGE－に関する意見書（案）について』に入りたいと思えます。</p> <p>前回の議論を受け、各委員には、それぞれ評価シートを提出いただきましたが、これを事務局で取りまとめ、意見書の（案）を作成していただいております。</p> <p>本日は、この意見書について御意見をいただき、内容を固めたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>まず、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>説明に先立ちまして、この意見書（案）を取りまとめるにあたり、委員の皆様には、お忙しい中、評価シートを御提出いただき、また、貴重な御意見を多数賜りまして、誠にありがとうございました。</p> <p>今回いただいた御意見と、前回の審議会での議論をもとに、事務局におきまして、資料10－1のとおり意見書の（案）を作成いたしました。</p> <p>それでは、意見書（案）の概要につきまして、座って、説明させていただきたいと思えます。</p> <p>まず、全体の構成でございますが、表紙、目次とございまして、1</p>

ページには「はじめに」として、石森会長からの御挨拶を掲載しております。こちらのページにつきましては、事前に石森会長と調整させていただいております。

2ページは、「評価方法について」として、ネクストステージにおける評価の方法を掲載しております。

3ページから17ページにかけては、テーマごとの評価と個別の項目について評価したものを記載し、18ページと19ページには、「総評」として全体に対する御意見を掲載させていただきました。

21ページ以降につきましては、資料編といたしまして、前回、資料として配布させていただきました、「取組結果報告シート」と「財政効果額の状況」を添付することとしております。

それでは、意見書（案）の内容につきまして、簡単に説明させていただきたいと思っております。

あらためまして、2ページを御覧ください。

「評価方法について」ですが、一番上の表には、各年度の評価スケジュールについて掲載しております。今回は、最終年度の「令和2年度」の部分となり、取組の有効性について評価を実施することとしております。

中段には、取組有効性の評価方法と評価基準について掲載しております。

下段の米印の1番目は、プランにおける「取組終了」の意味合いについて注釈を入れたものとなっております。

また、その下の米印2番目は、今回の意見書における評価対象につきまして、改定後のプランの取組に対するものであることを注記しております。

続いて、4ページを御覧ください。

ここからは、「取組の有効性の評価」としまして、委員の皆様からいただいた御意見の内容を、7つのテーマごとに取りまとめたものとなっております。

それぞれのテーマごとに、2ページの見開きで作成しており、左のページには、テーマの取組項目と取組結果が上段に記載されており、中段には委員の皆様の評価点数の平均点とそれをグラフ化したもの、下段には、テーマ全体に対する御意見を記載しております。そして、右ページには個別の取組項目に対する御意見という構成となっております。テーマ1からテーマ7まで、全て同様の構成となっております。

なお、今回、委員の皆様からは非常に多くの御意見をいただきました

た。意見書では、その中でも、多くの御意見が寄せられた項目や、複数の委員から同様の意見があったものなどを中心に、まとめさせていただいております。

また、取組内容に対する御質問や、直接関係していないと思われる御意見などは、省略させていただいたものもございますので、御了承いただきたいと思っております。

それでは、テーマごとに、全体に対する御意見について説明させていただきます。

4 ページのテーマ1「市民サービス向上策の積極展開」です。

委員の皆様の評価点では、取組姿勢が4.1点、市民サービスが4点、財政効果が3.2点となっております。テーマに直結している市民サービスの項目の点数が他のテーマに比べ高い結果となっております。

テーマに対しては、「様々な切り口から市民サービス向上に意欲的に取り組み、多くの成果を上げたほか、費用対効果や行政コストにも配慮した点は高く評価できる」、「多様化する市民ニーズに対応するために、場合によっては資金を投入することも考えられ、適正なサービスを見極めて、事業を進めていく必要がある」、「ご当地ナンバープレートやアイスホッケータウンのPR推進等、他の自治体との差別化を図り、本市の魅力の更なる発信を期待する」、などの御意見がございました。

次に、6 ページを御覧ください。

テーマ2「民間活力の積極的な活用」です。

委員の皆様の評価点では、取組姿勢が3.6点、市民サービスが2.7点、財政効果が3.8点となっております。取組姿勢については、取組終了とならなかった項目が多かったこともあり、他のテーマに比べ一番低い結果となっております。

テーマに対しては、「行政事務等の積極的な民間委託により、行政費用の圧縮を図る目的が概ね達成できたと評価する」、「民間委託の導入に当たっては、市民サービスの向上やコスト削減だけを重視するのではなく、危機管理体制の確保や公平性の維持等を考慮する必要がある」、「積極的な地元企業の活用を望む」などの御意見がございました。

続いて、8 ページを御覧ください。

テーマ3「公共施設の適正配置と効率的な活用」につきまして委員の皆様の評価点では、取組姿勢が3.7点、市民サービスが3.0点、財政効果が3.8点となっております。

テーマに対しては、「小中学校や廃棄物処理施設の効率的な配置に向けた取組については、先を見据えた取捨選択、維持管理の軽減が図られており評価できる」、「年齢別人口の推移や、居住・産業地域の変化等の大規模なデータを活用した統計解析に基づく分析も検討していかなければならない」、「大型施設の再編に当たっては、PFI手法等の民間資本の活用についても積極的に推進する必要がある」、「民間事業者の経営や運営のノウハウが発揮されることで、行政費用の圧縮平準化や、中心市街地の機能強化が図られることを期待する」などの御意見がございました。

10ページを御覧ください。

テーマ4「事務事業の継続的な見直し」につきまして委員の皆様の評価点では、取組姿勢が4.2点、市民サービスが3.3点、財政効果が3.5点となっており、取組姿勢に対する評価が全テーマのうち2番目に高い結果となっています。

テーマに対しては、「行政評価制度の再構築や行政事業診断の実施の取組は、今後の継続的な見直しを図っていくために、大変重要な基礎を構築できたものとする」、「『Withコロナ』や『Afterコロナ』を見据えた事務事業の見直しも必須である」、「常に課題を検索することで、変化に俊敏に対応していくことが可能となり、先見性が養われるため、今後も取組の継続と拡大を期待する」などの御意見がございました。

12ページを御覧ください。

テーマ5「新たな財源創出と効率的な財政運営」につきまして委員の皆様の評価点では、取組姿勢が4.4点、市民サービスが2.5点、財政効果が4.6点となっており、テーマに直結した財政効果の項目の評価が高い結果となっています。一方で市民サービスの項目は低い結果となっています。

テーマに対しては、「本プランにおける財政効果額の約3/4がこのテーマで生み出されていることを高く評価する」、「行政費用の抑制には限界があるが、財源創出に限界はない」、「広告媒体の掘り起こしや、ネーミングライツの拡大のほか、ガバメントクラウドファンディングや企業版ふるさと納税等についても積極的に進めていただきたい」、「捻出した財源を事業の選択と集中により効果的に配分するマネジメント力も重要となってくる」などの御意見がございました。

14ページを御覧ください。

テーマ6「機能的な組織づくり」につきまして委員の皆様の評価点では、取組姿勢が4.0点、市民サービスが2.9点、財政効果が3.

7点となっております。

テーマに対しては、「全体の職員数を抑制しつつ、組織・機構や人事・給与制度を見直すことにより、行政ニーズの変化に応じた人的資源の再配置や職場の活性化に向けた取組を行い、着実に成果を上げた」と評価できる、「勤務環境の整備等、社会的に意義のある取組は、自治体がまず率先垂範することにより、民間をリードしていただきたい」、「組織の再編に当たっては、将来展望に基づいた新たな組織の基本設計を構想し、市民サービスを阻害せぬよう、十分に検討し進めていただきたい」などの御意見がございました。

16ページを御覧ください。

テーマ7「協働によるまちづくり」につきましては、委員の皆様の評価点では、取組姿勢が3.7点、市民サービスが3.3点、財政効果が3.3点となっております。

テーマに対しては、「市民と行政の効果的な連携に向けた仕組みづくりが進んでおり評価する」、「市民に対して必要な情報を提供し、情報の共有を図るとともに、パブリックコメントやまちかどミーティングを通じて市民意見の反映を行うだけでなく、多様な市民参加の機会を提供していくことが必要である」、「行政、市民、団体、企業等が、お互いに協力してまちづくりに取り組むためにも市がリーダーとなって各施策を継続していただきたい」などの御意見がございました。

18、19ページの総評を御覧ください。

まず18ページには、各テーマの評価点をまとめた表を掲載し、中段左側には各テーマに掲載したグラフを重ね合わせたもの、右側には各テーマの3項目の評価点の平均をテーマごとに比較した表を掲載しております。

テーマの目的によっては評価が偏ってしまうものもありましたが、各テーマの評価を重ね合わせたグラフにおいては、バランスの良い三角形となっております。

また、テーマごとの平均点を比較した結果は、本プランの基本スタンスに直結する「1 市民サービスの積極展開」と「5 新たな財源創出と効率的な財政運営」の評価が上位となっております。

最後に19ページをご覧ください。委員の皆様からは、プラン全体に対しましても、多数の御意見をいただきました。事務局で内容を精査させていただき、まとめております。

主な内容といたしましては、『市民サービス向上』と『行政コストの削減』という相反する課題にチャレンジしながらも、約46億円

	<p>の財政効果を生み出している」、「豊かな市民生活の実現という一歩進んだ次なるステージへの挑戦は、各取組の活動指標の結果にも表れており、一定の成果があったと評価できる」、「課題等を残し継続して取り組んでいく必要がある取組については、取組のプロセスや結果を分析した上で、スピード感を持って次期計画の中で取り組んでいただきたい」、「新型コロナウイルス感染症の拡大により、先行きが見えない状況が続いており、今後も、行政においては迅速かつ適正な判断及び対応が求められる」、「『行政創革プラン』では、そうした変化やニーズを的確に捉え、時代に即したまちづくりを進める必要がある」、「全体最適の意識を継続しつつ、これまでにない新たな手法や新たな価値創造を意識した取組が積極的に展開されることを期待する」などの御意見をいただいております、このような形にまとめさせていただきました。</p> <p>以上が、簡単ではございますが、意見書（案）についての説明となります。</p> <p>本日の審議会では、この内容につきまして、修正すべき点や追加すべき御意見などについて議論いただき、内容を確定させてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
石森会長	<p>ただ今、事務局から説明がありましたが、御意見や御質問はございますか。</p>
滝本委員	<p>事前に資料を拝見させていただいたのですが、17ページのテーマ7の「パブリックコメントの効果的な運用」について、市民認知度がまだまだ低いという意見にもある通り、市民の皆さんは、パブリックコメントが将来の市政に反映されるということがまだまだ認知されていないと思います。</p> <p>パブリックコメント実施の周知方法についても工夫しながら取り組んでいただきたいと思います。</p>
事務局	<p>パブリックコメントについては、市のホームページに、募集中の案件を一覧化するなど工夫はさせていただいているのですが、市民の皆さんへの周知が足りていないということだと思います。</p> <p>市政に市民意見を反映させることは重要なことですので、パブリックコメントの効果的な運用については、NEXT STAGEの取組期間で取組終了ということではなく、担当部署と協議しながら、今後も継続していきたいと思います。</p>
滝本委員	<p>色々な手法を試していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。担当部署にも御意見を伝えさせていただきます。</p>

石森会長	<p>テーマ2の民間活力の積極的な活用の市民サービスの評価点が低いということは、民間委託をすることで市民サービスにどう結び付くかということの理解が進んでいないということですかね。</p> <p>そういう意味では、市民に対して、分かりやすく民間委託の効果などを公表していく必要があると感じます。</p>
事務局	<p>民間委託した際の効果は、なかなか理解されにくいと思うのですが、テーマ1にあります「総合窓口の設置」の取組では、窓口業務については、民間事業者に委託して運用しています。全国的に事業を展開している事業者のノウハウが苫小牧市の窓口でも発揮されるということが市民の皆さんにとっても分かりやすいメリットの一つだと思います。</p> <p>民間委託の推進の取組は、行政改革で進めていかなければならない大きなテーマですので、民間委託による効果の発信についても、分かりやすくなるよう工夫しながら取組を進めてまいりたいと思います。</p>
石森会長	<p>民間委託の推進は、企業から見れば、ビジネスの創出につながるということになります。これから景気の悪化が予測される中では、民間委託の機会を増やしていくことは必要かもしれません。</p> <p>行政改革プラン－NEXT STAGE－の評価については、市民サービスの向上と行政費用の効率化というチャレンジについては、一定の成果があったということで一区切りをつけていいと思います。</p> <p>コロナ禍で、先行きがわからない状況で、次期プランを進めていくには、市の財政状況を踏まえて、経済を立て直すためにどういった施策ができるか検討していく必要があると思います。</p> <p>そのほかございますか。</p> <p>なければ、最終的な意見書の調整につきましては、私と事務局に一任いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	異議なし
石森会長	<p>それでは、私と事務局に最終的な調整は任せさせていただくということで、お願いしたいと思います。</p> <p>では、事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>確定した意見書につきましては、8月19日に、石森会長から市長に提出いただき、庁内に展開していきたいと考えております。議会に対しましては、9月議会までに資料として配布する予定としております。</p> <p>意見書の最終的な調整につきましては、先ほど会長からお話しがありましたとおり、会長に一任ということで進めさせていただきます。</p>

	<p>なお、確定した意見書につきましては、委員の皆様へ、後日、郵送させていただきますと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>以上です。</p>
石森会長	<p>それでは、最後に、全体を通して何かございますか。</p> <p>なければ、事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>今回は、10月頃に開催を予定しております。次回の審議会では、今年度より取組を開始した行政創革プランの評価方法につきまして、事務局の案を提示させていただき、委員の皆様から御意見をいただきたいと考えております。</p> <p>なお、日程等の詳細につきましては、改めて、御案内させていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
石森会長	<p>それでは、本日の審議会を終了いたします。ありがとうございました。</p>